



平成16年
(2004年) 4月15日

区分	住民基本台帳	外国人登録	合計	
人口	男	30,105	1,088	31,193
	女	29,357	1,221	30,578
	計	59,462	2,309	61,771
世帯数	26,702	1,306	28,008	

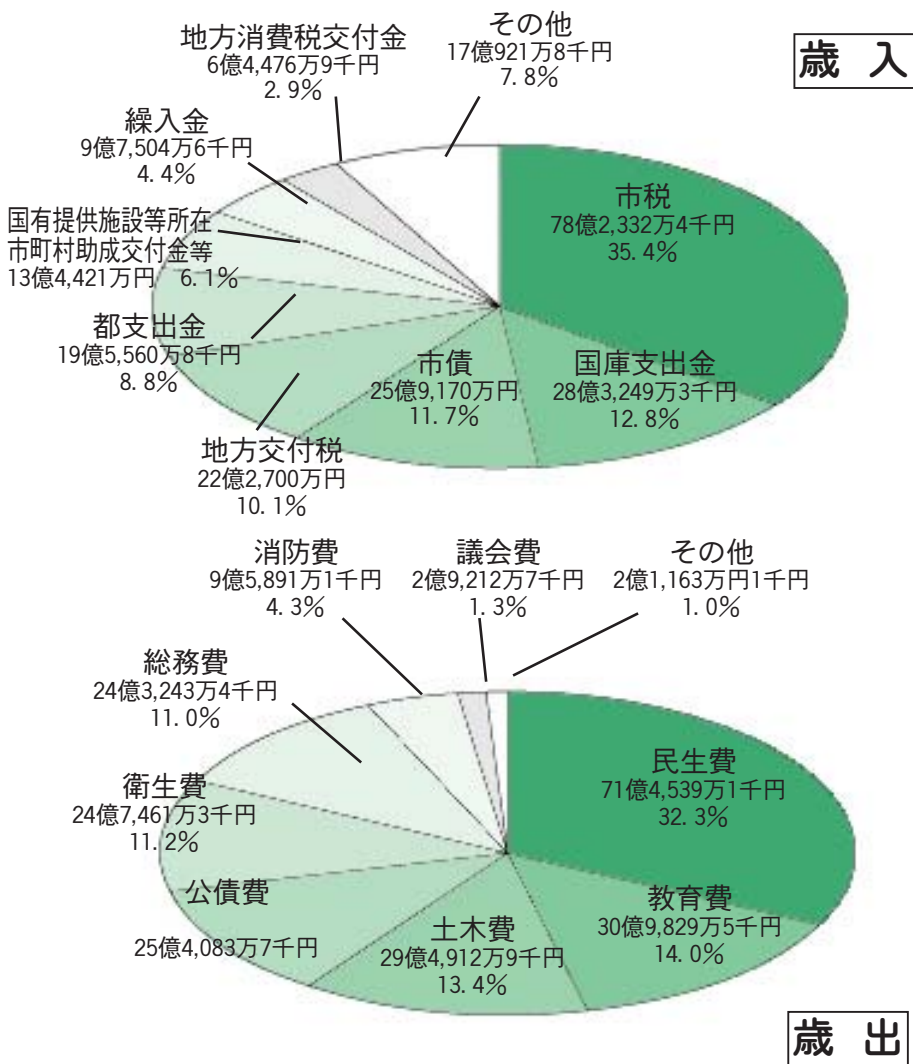
短時間保育士登録者募集	3面
七夕まつりイベントボランティア募集	4面
福生市消防団を紹介	5面
福祉サービス総合支援事業を開始	6面
体育館前期スポーツ教室	7面
保健ガイド	8面

発行/福生市 編集/総務部秘書広報課 〒197-8501 福生市本町5 ☎042-551-1511 (市役所代表)

福生市のホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

一般会計予算の構成

総額 221億336万8千円



平成16年度予算が、市議会3月定例会で可決成立しましたので、概要をお知らせします

- ▶平成16年度一般会計予算→221億336万8千円
前年度に比べて1.0%の増加。ただし、平成7、8年度に借入れを行った住民税等減税補てん債の借換え分13億8,190万円を除くと、実質207億2,146万8千円、5.3%の減少
- ▶特別会計予算→127億560万8千円
一般会計と特別会計を合わせた当初予算額→348億897万6千円(借換え債を除き、実質334億2,707万6千円)。前年度に比べて1.1%(同5.1%)の減少
- ▶市債(借入金)の一般会計平成16年度末現在高見込額→127億6,267万9千円で、臨時財政対策債の増加等により、前年度末に比べて3.1%増加

本年度は、歳出では主に土木費が減少していますが、公債費が住民税等減税補てん債の借換えにより、大幅に増加しました。一方、歳入では、市税が減額となっているほか、国の三位一体の改革により、地方交付税や国庫支出金等が減額となっており、これらの財源不足を臨時財政対策債の借入れや財政調整基金の取崩しで補うという厳しい財政運営を行っています。

国の三位一体の改革は始まったばかりで、平成18年度まで行われる予定となっており、その影響により市の財政運営は、更に厳しくなることが予想されます。後年度に財政的な課題を残さないよう、歳入見積額に見合った予算規模を目指し、一般財源補てんのための借入れや基金の取崩しは最小限にとどめながら、限られた財源を重点的かつ効率的に配分することを基本として編成しています。

今後も市民要望に的確に対応しながら、「やすらぎ いきいき 輝く街 福生」づくりに向け、福生市第3期総合計画を着実に進める努力をしていきます。

問合せ財政課財政係

やすらぎいきいき輝く街を目指して

平成16年度事業がスタート



福生駅東口自由通路も4月から開通しました

歳入

市税は、前年度に比べて1.3%、金額にして1億200万4千円の減額となっていますが、市民税個人分、特に、所得割の減額に伴うものです。

国庫支出金は、前年度に比べて8.4%、金額にして2億6,057万5千円の減少となりました。

市債は、前年度に比べて84.5%、11億8,730万円の増加となりました。これは平成7、8年度住民税等減税補てん借換え債によるものです。また普通交付税の減少分の補てんとして導入された臨時財政対策債は、借入れ可能額を約1億3,000万円下回る7億8,000万円計上しています。

繰入金は前年度と比べて0.2%の増で、内訳としては、財政調整基金繰入金が2億2,000万円、都市施設整備基金繰入金3億9,500万円などとなっており、取崩しにより、基金残高は年々減少しています。

その他では、地方交付税が前年度比21.3%、都支出金が前年度比6.6%の減となっています。

民生費は、前年度に比べて2.9%、金額にして2億1,041万2千円の減少となっています。これは主に、れんげ園増築事業及びびくし保育園防音機能復旧(復機)事業の完了等によるものです。

歳出

教育費は、前年度に比べて0.3%、金額にして1,019万3千円の増加となっています。

土木費は、前年度に比べて26.5%、金額にして10億6,174万1千円の減少となっています。これは原ヶ谷戸緑地(仮称)新設事業及びびくし自由通路整備事業等の開始により増加となりますが、都市再生交通拠点整備事業補助金及び下の川緑地(仮称)新設事業の完了、都市計画道路路整備事業等の減額により減少となっています。

公債費は借り換え分の影響により、前年度に比べて114.7%、金額にして13億5,728万6千円の増加となりました。

衛生費は、前年度に比べて0.1%、金額にして2億8万9千円の減少、総務費は前年度に比べて7.0%、金額にして1億5,861万4千円の増加となっています。

消防費は、前年度に比べて0.1%、金額にして2億8万9千円の減少、議会費は前年度に比べて0.1%、金額にして2億9,212万7千円の減少、その他は前年度に比べて0.1%、金額にして2億1,163万1千円の減少となっています。

民生費は、前年度に比べて2.9%、金額にして2億1,041万2千円の減少となっています。これは主に、れんげ園増築事業及びびくし保育園防音機能復旧(復機)事業の完了等によるものです。

教育費は、前年度に比べて0.3%、金額にして1,019万3千円の増加となっています。